

♡ ことばの力 ♡ からだの力 ♡ こころの力
園長室だより

城南学園幼稚園 園長 太田友子 令和3年12月1日

「小学校につながる確かな学びの基礎を培う」幼稚園

「伝えたいことがあって…

伝えたい人がある！」



—作品展から見える子どもの表現力—

早いものでもう師走、何かとあわただしさを感じるようになりました。

さて、先日は作品展にお越しいただきありがとうございました。子どもたちの作品はいかがでしたでしょうか。3歳児は「見立てる」時期、出来上がったものがある時は「お母さん」に、ある時は「お友達」に見立ててその時々のお思いを表現しようとしています。4歳児は、興味や関心の対象が広がり、作りたいもののイメージが膨らんでくる時期です。

また、個人差が大きい時期でもあり、一人一人に応じて、子どもとの対話により、作品を仕上げたりもしています。



5歳児になると、想像力が豊かになり、創造力が一段と伸びる時期です。作品にはこれまでの生活経験があちらこちらにちりばめられており、粘り強く細かな箇所まで表現しようとしています。



このように、幼児期の表現活動では、一人一人の子どもたちが「今」興味・関心のあるものを取り出し、発達の道筋に沿って表現しますが、その時、伝えたい相手の存在が重要になります。伝えたい相手、それは紛れもなくお家の人です。作品展を心待ちにしていた子どもたちです。子どもたちにはどんな感想を伝えてくださいましたか？

大人には表現できない、伸びやかさと大らかさ、そしてほほえましさを感じさせてくれる「作品展」。この経験からさらに意欲が喚起され、お家でも力作？にチャレンジすることでしょう。



どうぞ、「マイ作品展」を開催してあげてください。

—みんなで作ろう—

恒例の「みんなで作ろう」シリーズ。今年は虹空を10色の風船が飛ぶ、明るく希望あふれる作品となりました。



保護者会役員の皆さまのアイデアには敬服します。また一つ素敵な作品ができました。保護者の皆さま、子どもたち、ご協力をありがとうございました。

感謝状



贈呈



保護者会会長 小縣由明様が、この度大阪市私立幼稚園連盟から感謝状を贈呈されました。

子どもたちのためならと、いつも惜しみないご支援をくださっています。「いやあ、緊張します！」とのジョークに、クラス委員の皆さまからもお祝いの拍手が寄せられました。場の雰囲気をも和ませてくださる小縣会長様のお人柄に改めて魅せられますね。保護者の皆さまとともに小縣会長様に感謝の気持ちをお伝えしたいと思います。

これからもよろしく願いいたします。

ちょっと気になる子どもの姿

お子さんの名前を一日何度呼ばれていますか？

この頃、名前を呼ばれても返事をしない子どもが増えていっているように感じています。いかがでしょうか。

「聴く」は耳だけでなく、態度から始まります。相手を意識して、「はい」と体と心を向ける癖を園では意識して育てようとしています。ご家庭でも「共に」お願いします。